

第2回関東甲信越高校生溶接コンクール

4月23日、川崎で開催 11協会から22選手が出場

「第2回関東甲信越高

校生溶接コンクール」

（主催・東部地区溶接協会連絡会、後援・日本溶接協会、特別協力・産報出版）が4月23日、川崎市川崎区の日清館・溶接技術中央検定場で開催される。午前11時半から開

会式・競技説明を行い、正午に競技を開始する。

競技は被覆アーク溶接の部の1種目。競技課題は手溶接技能者評価試験（JISZ3801/WES8201）の「A-2F」。関東甲信越11協会から推薦された全22選手の出場を予定している。

○

実行委員会は3月29日に第3回会合を開き、11協会で構成する実行委員の役割分担や、日清館・東部地区溶接技術検定委員会で構成する審査委員会がまとめた審査要領、関連品の確保など23日の本番に向け最終調整を行

った。

今回で2回目となるコンクールは「関東甲信越の高校生が溶接技能を競うことにより、日本のものづくりを支える溶接技能の普及を図り、製造業の担い手育成を支援する」趣旨を掲げる。

競技課題は基本級の「A-2F」。▽溶接姿勢・下向▽試験材料厚さ区分・中板（9.5）▽選手区分・板の突合せ溶接▽真鍮と金・あり▽開先形状・V形（開先角度60度）。

競技用材料は主催者が準備し、選手本人がタック溶接（仮付溶接）を行ったものを持参する。競技用鋼材は、JISG3101「一般構造用圧延

鋼材」に規定するSS400とする。溶接種はイールミナイト系で溶接は4「とし、参加申込時に銘柄を届け出る。申請のあった銘柄を主催者が用意する。

審査は試験材表面からの外観審査とする。溶接作業・服装・不安全行為などについては減点表を

作成している。競技会長

（廣田文雄東部地区溶接協会連絡会会長）は、審査委員会の成績報告に基づき受賞者を決定する。

審査結果は競技当日に発表し、合わせて表彰式を開催する。成績優秀者に対し、最優秀賞1人、優秀賞・優良賞各3人を授与する。



実行委員会の開会



コーナの技術を習得する高校生の様子